

エビデンス

(食品原料)

製品名：マリンコンドロイチン®

改訂日：令和元年9月1日

製品略号：MC

【骨粗鬆症に関する試験】

食品原料マリンコンドロイチンの一般成人モニターを使った骨粗鬆症に関する試験を行った。

【試験機関】

厚生労働省所管 公益法人 天然物医科学研究財団（東京都千代田区）

【摂取期間】

1ヶ月間摂取（2005年3月24日～2005年7月20日）

【飲用方法】

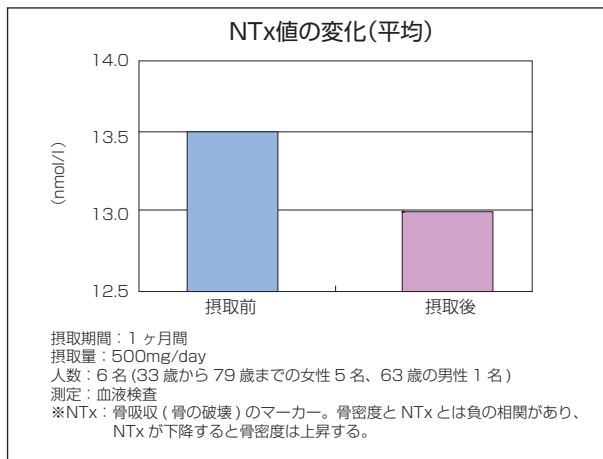
1日2粒のカプセルを摂取した（403mg/粒）。…マリンコンドロイチン摂取量：500mg/day

【モニター】

33歳から79歳までの女性5名（そのうち4名は閉経）、63歳の男性1名の計6名。

【試験結果】

骨密度を測定する指標として NTx が被爆の心配もなく簡便で広く臨床に利用されているのでそれを指標とした。NTx は、骨吸収（骨の破壊）の度合いを表すものである。骨密度と NTx とは負の相関があり、NTx が下降すると骨密度は上昇する。骨は夜間に骨代謝が活発になり日内変動による誤差を避けるために採血は午前中に行った。



マリンコンドロイチン摂取前の平均血中 NTx 値は 13.5nmol/l、摂取後の平均血中 NTx 値は 13.0nmol/l と下降した。

【まとめ】

骨密度と NTx は負の相関があり、NTx は下降しているため骨吸収は抑制され、骨形成が促進されたものと推測できた。1ヶ月間という短期間における結果なので、長期摂取によりさらに NTx が下降するものと推測ができ、マリンコンドロイチンは骨密度の維持および上昇には有効と思われる。

「マリンコンドロイチン」は株式会社日本バリアフリーの登録商標です

当社の登録商標の使用を希望される場合には、当社への事前の連絡及び当社の許諾が必要となります。

※当社製品を配合した健康食品等の表示・広告宣伝は関連法規に従ってください。

※当資料にある文章・画像等の無断転載・使用を禁じます。